

刊夕日七廿月九

常磐每日新聞

定額 一月五錢 三月十五錢 半年三十錢 一年六十錢
廣告料 五號十二字 第一行 五錢 以後 減半
電話 常磐 每日新聞
印刷所 常磐 每日新聞印刷株式會社

戌辰の覺書

頃日連載の戌辰の回顧は主として當地方に關係深き部分を會津戌辰戰史より要約して披露せるものなるが平藩に於ては戰爭直後藩士として其の家歴を留書して提出せしめしもの數十部に上れり、此の中當時要路に在りし參政添原市郎左衛門昌安記載のものは最も出色のもの認め複寫して久しく篋底に藏せしが此の機を利し之を貴紙に寄す。文中の肩書は其の儘本文へ連ね割注は上下に點線を施し置けり。

平陽老人

三月より十月迄覺書

添原市郎左衛門

三九條澤

醍醐様與羽爲御鎮撫御下向之旨、御達有之候に付ては爲御用向味重右衛門門江戸表より二月晦日着仕候、右に付磐城平御巡行之節
御宿城に可相成哉分り兼候得共可相成は外に御宿營に相願度、八幡神職飯野磯之進宅御借り請に相極り御修葺等の儀御用意に相成申候年寄添原市郎左衛門、大目付林悌之助郡奉行御使番にて竹尾直右衛門、儒官神林千次郎書役遠藤鐵三郎與度
御三郷様仙臺表に御着可被遊旨傳承に付出役被作付、三月十六日磐城平出立同廿日仙臺を着仕候

平陽老人

御三郷様同十八日寒風澤港え御着艦松島御巡覽鹽釜御參詣同廿三日仙臺城下養賢堂に御着同廿四日同所に御呼出之旨仙臺藩より通達に付市郎左衛門悌之助、直右衛門、千次郎、罷出此度與羽爲、御鎮撫御下向被遊候に付奉

天機候御口上書兼御三郷様え願、御機嫌且先達て殿様御上京被遊御在所御家來一同領民に到迄朝廷之御越旨遵奉仕勤

衣類の酒の汚點はすぐらば煙草の煙をふきかけておくところが残らない
王一途に相心得候に付相應之御用等御座候者被仰付被下置候様御口上書參謀大山格之助世良修藏殿

御三郷様同十八日寒風澤港え御着艦松島御巡覽鹽釜御參詣同廿三日仙臺城下養賢堂に御着同廿四日同所に御呼出之旨仙臺藩より通達に付市郎左衛門悌之助、直右衛門、千次郎、罷出此度與羽爲、御鎮撫御下向被遊候に付奉

ノート

衣類の酒の汚點はすぐらば煙草の煙をふきかけておくところが残らない
王一途に相心得候に付相應之御用等御座候者被仰付被下置候様御口上書參謀大山格之助世良修藏殿

列被差出候處：但御口上文面書留無御座候

御三郷様江可達、御聽旨被申開候其席にて磐城地形兼兵備器械大砲等之尋有之候に小家之儀微力西洋調練昨今之事に付未熟大砲は數少にて和砲え交稽古に相用申候白川迄之道筋山路至て嶮阻之趣相答申候、但二本松福島藩列座：無程
御三郷様え御目見被仰四

○明日の立献
○朝みそ汁一ねぎ
○晝焼き肴一さば鹽やき
○甘藷 甘露煮
○晩にしめこんにやく
ごほう がんもどき

一人一同罷出候處、御三郷方様共御意有之其御席にて討會應援出兵御書付御波御沙汰次第出兵可仕旨御達に付奉畏候旨御請申

上以急飛磐城表え申遣候一澤様御家來に美濃御領分之者相僅候手續有之同所御陳屋より申越候儀も有之候間御用人を面會仕度仙藩を以て申入候處早速被遊候に付市郎左衛門、悌之助より御上知村々御猶豫願之儀執成相頼尙又追日申上度儀有之候間呼出之儀相頼候處承知にて其後手紙を以罷出候様申

來候間兩人出候處取次仙藩申開候は參謀衆へ出候外餘人には一切面會不相成各藩何も同様書狀も取次不申様參謀衆より嚴敷被申付候趣にて爲違不申無據周旋相整不申候

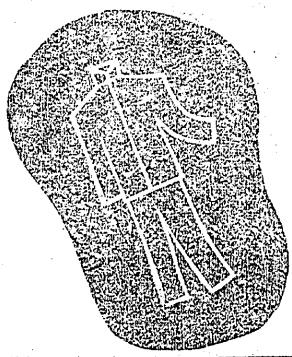
平島野澤
前易斷定
地番一前島野澤
所象

九月廿八日丁酉六日佛滅立
【一白】用意周到を以て進まざれば深身のどん底に陥り大損害を來す事あり南北凶
【二黒】營業繁昌の日只水火の難と南北は凶【三碧】我が目的を達せんとして反つて損害を蒙る事あれば謙遜吉未申丑寅凶【四綠】金錢や望事家に内口舌が生じ破談となれば言語に注意東西凶【五黃】金談縁談我望事等目上の信用を得て大吉の日なり辰巳と戌亥凶【六白】氣計り焦せりて物事不調の凶日なれば萬事控目が吉なり【七赤】我望事に好調を得る日遠方より喜信のある吉日戌亥と辰巳は凶【八白】名譽揚るか給料揚るか的好兆ある日なれば謙遜以て吉東西凶【九紫】古きを捨て新企を起すに吉病氣怪俄紛失に注意して未申丑寅凶

黒小倉通學服賣出

- 小学生用(長ズボン付)
- A 90
- B 1.10
- 特製 2.50
- 中学生用
- 特製 6號 3.50
- 御注文(特上) 6.50均一

ふかや洋服店 平 203



冬服の御用意をなさいましたか
弊店は御満足の頂ける黒小倉服を
澤山取揃へ特價にてお務めしております

木村外科醫院

平町五丁目橋際
電話九〇三番

親切確實は

正木織物店ノ生命也
絹織物ノ正木織物店へ
開業三十五週年を祝するため
二割引にて大々的勉強御注文に應ず
御注文ノ時(呼出六七四番)へ店員伺ヒマス
平町字新町貳十貳番(公園下)

白生地 正木織物店
賃織販賣



玉屋洋品店
平町田町通電話六五六番

内科、小兒科、花柳病科
藤沼醫院
入院需應
平町紺屋町
電話五〇七番

外科 全小兒科 内科

醫學博士 渡部 義夫
女 醫 渡部 きい子
平町田町大通り(電話二七七番)
入院應需 渡部 外科

町有地賣却

豫定額に達せず

來月九日再入札

平町にては既記の如く左記町有地

△才樋小路(湯殿山下)百五十九坪八合△田町(平陽校跡)百參六坪八合△三丁目(九保間道)十五坪△十五丁目(共濟病院隣)六十五坪四合五勺を賣却する事となり昨廿六日午後一時より町會議室にて土木委員立會の上競争入札に附し眞木隆四郎氏外七名の入札者あつたが豫定額に達せず來月九日午後一時より再入札を執行する事となつた

豚コレラ發生 石城郡鹿島村大字上藏持字嘉陸家一五農志賀佐方で飼育中の雄豚二頭、牝豚二頭は昨廿六日豚コレラなる事判明したので即日平署係醫士屋敷に診察の上屠殺處分に附し養豚の移動を禁じて豫防嚴重を極めて居ると

入山日立對抗 石城郡湯本町入山炭礦競技部では來月廿四日茨城縣助川町日立製作所軍と對抗競技を行ふので目下猛練習中

躍動の秋

平青年團が

各種の競技

秋運動のシーズンを迎えた平青年團にては來月十五日分團對抗野球試合(前年優勝南町チーム)を第一校、平商、第三校々庭に於いて舉行し十一月三日の体育デパートには市内に於いて是れ又分團對抗に依る驛傳競走(前年優勝月見町)を開催する由にて是れ等の準備打合せの爲め今晚七時よりマルトモ樓上に分團長及び役員

兒童競技

役員分擔

部員募集協議すると

既報來る十月一日警中グラウンドに開催される石城郡第三區小學校兒童競技會の委員会は昨日午前十時より平第一校に開かれたが競技參加校は内郷第一、同第二同第三、小川、好間尋高、同

陪審員の資格者

二十名位減少か

目下平町役場で調査

平町では來月中旬に陪審員の抽籤を執行するので本月初月現在を以つて有資格者を調査中であるが資格者は直接國稅三圓以上の納附者といふ事になつて居り昨年度は四百八十二名の處最近不況による營業不振から本年は二十名位の減少すると見られて居る

犯人逮捕

民間功勞

夫々表彰さる

既報石城郡内郷村字竹ノ内伊藤丑次郎方へ忍入つた窃盗犯人田村郡生れ伊澤桑三郎を取押へた磐城炭礦坑夫館野勝(三)氏及び去る六日平驛待合室で東京市日本橋壽丹平商會外委員のカバンを盗取せる犯人の檢舉に盡力した平商業四年生鈴木惣六(一)同く飯土井民雄(一)の兩君に夫々廿五日付を以つて民間功勞者とし縣刑事

農産出口

郡農會勸誘

石城郡農會では十一月十八日より三日間相馬郡原町縣立農蠶學校に催される産業共進會に多數出品を勧誘する

見習看護婦募集

(平町某醫院)

姓名在社

石城郡農會では十一月十八日より三日間相馬郡原町縣立農蠶學校に催される産業共進會に多數出品を勧誘する

平町農會が主催で

一二毛作栽培の講演

正木校長出張

平町農會では本廿七日午後一時より實行組合長鎌田町鯨岡藤七氏方に二毛作栽培に關する農事講演會を開くが講師は郡農會柴田技手である

忠魂碑移轉

勿來分會で

石城郡勿來町在郷軍人分會

では今回協議の結果從來同町の中央に設置されてあつた忠魂碑を他の適當な場所に移轉する事となり移轉費を一般の寄附に仰ぐと

寶生の素謡會

平寶生會では來月一日午後一時

石城郡勿來町在郷軍人分會では今回協議の結果從來同町の中央に設置されてあつた忠魂碑を他の適當な場所に移轉する事となり移轉費を一般の寄附に仰ぐと

平町農會では本廿七日午後一時より實行組合長鎌田町鯨岡藤七氏方に二毛作栽培に關する農事講演會を開くが講師は郡農會柴田技手である

石城郡勿來町在郷軍人分會では今回協議の結果從來同町の中央に設置されてあつた忠魂碑を他の適當な場所に移轉する事となり移轉費を一般の寄附に仰ぐと

平町農會では本廿七日午後一時より實行組合長鎌田町鯨岡藤七氏方に二毛作栽培に關する農事講演會を開くが講師は郡農會柴田技手である

石城郡勿來町在郷軍人分會では今回協議の結果從來同町の中央に設置されてあつた忠魂碑を他の適當な場所に移轉する事となり移轉費を一般の寄附に仰ぐと

吸入用酸素素度 99%

度量モノサシ

秤ノ取緒・垂糸・修繕致シマス

眞眞材料一式販賣致シマス

耳鼻咽喉科専門

鈴木醫院

醫學士 鈴木 正男

平町田町(電話五八番) 藤田女學校前

入院の爲めに應ず 自炊の便あり

純郷土 草汁 (每号六十頁以上 文藝誌 一部十五錢 原稿募集 短篇小説、短歌、詩、俳句、民謡等)

發行所 草汁堂

千葉縣山武郡公平村名二四八

福島縣平町胡摩澤一七

福島縣平支部窪田志朗

度量モノサシ

秤ノ取緒・垂糸・修繕致シマス

關内藥局

電話四〇番

耳鼻咽喉科専門

鈴木醫院

醫學士 鈴木 正男

平町田町(電話五八番) 藤田女學校前

入院の爲めに應ず 自炊の便あり

市原醫院

平町田町(電話一一四番)

内科小兒科 市原卯太郎

外科一般、婦人科 市原陸郎

外科梅毒、淋病 市原三三男

入院隨時

純郷土 草汁 (每号六十頁以上 文藝誌 一部十五錢 原稿募集 短篇小説、短歌、詩、俳句、民謡等)

發行所 草汁堂

千葉縣山武郡公平村名二四八

福島縣平町胡摩澤一七

福島縣平支部窪田志朗

草汁堂

窪田志朗

新任平第一校長

篠山氏の赴任は

大體來月二日頃

安達郡本宮尋常高等小學校校長篠山康氏は既報の如く昨日附にて平第一小學校長に正式任命されたが遅くとも來月二日頃迄には赴任される筈

絹綱で秋刀魚漁

作業能率三倍以上の好績

既報石城郡小名濱町本縣水産試験場では豫ねてより絹糸製秋刀魚刺網製作方を桑名市日本漁網會社に依頼中であつたが過般四十反が出來上つたので去る廿一日磐城丸に積んで釜石沖合で最初の試験の結果絹糸網に比して作業能率は三倍以上と云ふ好成绩を得たと昨廿六日試験場に無電があつた

運動會を延期

既報來る十月六日開催する筈であつた平第二校の秋季運動會は都合に依り十日に延期開催すると

若い滞在客を

頼て無斷家出

十八娘に父親の苦勞

石城郡内郷村字白水居住山崎定吉次女ユキ(一)は本月十日迄同家に滞在して居た東京市牛込區若松町一丁目三〇七七保險外交員大田吉四郎(三)を頼つて働き度いと去る廿五日朝家出したので平署に父親から捜査方を願出た

ラヂオの診査

仙臺放送局の受信機無料診査郡内巡回日割は左記の如くで

未納者留置

石城郡湯本町大字三國堀内寅治(五)は昨年七月平區裁

判所に於いて賭博罪に依り略式罰金六千圓に處せられたが納入せず遂に昨日平刑務所に留置された尙今後は未納罰金整理の爲め容赦なく未納者を收容すると

湯本校運動會

湯本小學校では來る三十日午前八時より秋季運動會を催すと

磐中野外演習

磐中一年生二百五十名は本日内郷村白水方面に於いて大井川配屬將校指揮の下に野外演習を行つたが四年生二百餘名は明日神谷村石森山附

ワカメとハマグリ

禁止期間中に採捕

平區裁判所から罰金仰付く

石城郡小名濱町字沖見町一六漁夫志賀宗之助(三)は禁止期間中にも拘らず去る七月廿五日同郡泉村剣ノ濱海岸からワカメ二十貫目を採取し漁業取締規則違反として罰金十圓また同町字定西八四魚行商人龍崎成吉(九)

泥棒に三分の理か

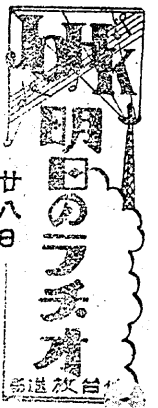
強盜犯人言渡しに不服

昨日平支部に於いて強盜事件に關し中島裁判長より懲役十二年を言渡された栃木縣那須郡黒羽町生れ目下石城郡赤井村大字赤井畑子澤居住萩田寅之助(三)は本日右判決に對し不服であると控訴の申立をなした

養正會が

時局批判

石城立憲養正會では明廿八日午後六時から平町マルトモホールに於いて時局批判演説會を催すと



明日のラヂオ 廿八日 今晩も明日北東の風晴曇半

今晩の部

- 後六、〇〇 子供の時間 童話劇「白洲燈臺」ユーカリコドモグループ
- 後六、二五 ことばの講座 「用語の統一」千葉勉
- 後七、三〇 講演「求道と人生」福島政雄
- 後八、〇〇 管絃樂(新交響練習所より中継) 日本

秋季特別

傳道

パプテストで

高橋牧師が來平

平村木町パプテスト教會では來る十月五日午後七時半より秋季特別傳道大講演會を催すが講師は東京原宿教會牧師高橋輝明氏、演題は「自力更生の靈訓」であると尙六日は午後一時より母の會を開き「非常時の宗教」と題する講演がある由

裁判所だより

△宮城縣遠田郡不動堂村目下住居不定無職猪股時雄(三)が電氣會社の外社員と稱し電燈の検査をなし不都合の個所を發見する毎に電氣取締法違反であると恐喝し酒の馳走になつた等前後三十九回に亘り窃盜詐欺恐喝をなした事件の公判は本日午前十一時より平區裁判

- ▼前六、三〇 基礎知識(七) 橋本忠夫
- ▼前九、〇〇 氣象通報
- ▼前九、一〇 料理献立「瀧川豆腐」小林忠雄
- ▼前一〇、三〇 婦人講座 「日本精神と女性」文學博士 田中義能
- ▼後〇、〇五 浪花節物まね 浮世亭雲心坊
- ▼後二、〇〇 家庭大學講座 「スラブヤの話」三好俊太郎
- ▼後六、〇〇 (子供の時間) 管絃樂東京ラヂオオーケストラ 指揮 平野主水
- ▼後六、二五 英語講座(六) 岡田實應
- ▼後七、三〇 講演「グイタミンCの話」大阪帝國大學醫學部教授 醫學博士 古武彌二郎
- ▼後八、〇〇 喜劇「自力更生」仙臺舞歌伎座より中継會我廻家五九郎一座
- ▼後八、四〇 ハーモニカとアッコデーオンハーモリン 杉原千加士アッコデーオン 古城貴世士
- ▼後八、五〇 連續新講談 「安政の大獄」(第二席) 伊藤彌遊

美味! 芳醇!

宗正らひた

山崎合名會社 電話一〇番

御愛乗下さい シボレーに! そは先驅者なり

銘劍秘刃録

【禁無斷轉載上演映畫】

寶井馬琴演
山本英春畫

第五十回 血に飢ゆる村正

戸棚でも蚊が来る
武「町人、其方は拙者を盗賊と思つたな、夫で一緒に行かうといふのを慌て、先に參ればこそ此の通りの目に逢ふぞ、能く人は見て交際へとは此の事だ」
次「何と仰しやられても申譯がございませぬ、エー此の上は旦那様手前共へ御案内を致しますが御出で下さる譯には參りますまいか」
武「どうせ何處と定めぬ長の旅其方は野州ぢやと申したな」

は役に立たぬものだと存じて笑つて居りましたが、最前の御働さ、實に大したものでございませぬ何うか御逗留中に難かしい事は入りませんが最前の様に泥棒の四五人も取つて投げたり切つて捨てにりするだけの事を

と其夜は熊谷の竹村屋へ泊り夜と共に物語りをして見ると實に竹を割つたやうな武助の氣性に感心たる次郎左衛門、翌日は佐野の船橋へ同道を致して參りました、茲に次郎左衛門武助より鞍馬八流の極意を得ると

銀は申すに及ばず目ぼしい物は本家の蔵に預けホンの清助は留守居にするだけでございませぬ、此の清助と云ふ男は佐野の船橋で評判の馬鹿者でございませぬ、然し馬鹿ながら正直な者ゆゑ次郎左衛門は萬事留守などを任して居ります、夜の五ツ頃でございませぬらうか

「御免下さいませ」と二聲ばかり聲をかけたが返事がございませぬ戸の透間から覗いて居りましがこの近所の博徒でメツバの勘五郎子分を一人連れて次郎左衛門の門に暫らく訪づれて居りましたが内を見れば誰も居ない様子
子「親分唯も居りませぬねえ」
勘「然うよ居ねえはずはねえが開けて見ろ」
子「親分、へエ畏まりました」
と戸を押して見ると締りがしてないと見えて開きました

子「親分何の事だえ締りはねえんだ」
勘「まだ宵だから締りをする時分ぢやねえ」
二人の者は泥草鞋のまゝで踏み込んで見ると廣い家に人影も見えませぬ
子「親分此奴は不思議だ、この船橋で一二の身上だとなふ網家の屋に入つ子一人居ねえといふなアどうしたんだらう」
勘「不思議だなア」
と考へて居ると戸棚の中

でゴーツ〜と大騒が聞こえますので開けて見れば清助は枕を外して寝て居る様子
秀「オヤ馬鹿が寝て居やアがる」
勘「起せ〜」
秀「ヤイ清助起きろ〜」
と揺り起され
清「ア〜誰だよく寝て居るものを起したなア何か食はせる氣か」
秀「食はせるんぢやねえや用があるから茲へ出ろ」
勘「清助何故戸棚へ入つて寝て居るのだ」
清「ヤア誰だと思つたらメツバの勘五郎さんだな」
勘「メツバだけは餘計だ」
清「夫でもメツバに相違ねえ」
勘「何故戸棚へ這入つて寝て居るのだ」
清「蚊が食つて仕方がねえ蚊帳を釣らうと思ふが世話で行かねえから戸棚へ這入つて居たら蚊が來めえと思つたら矢張り蚊が食つて仕方がねえ」
勘「此の馬鹿めえ戸棚へ這入つたつて蚊の除になるものか夫ア然うと次郎左衛門は何處へ行つた」



いふ事になつたのでございませぬ、お話しが少々後へ戻りまするやうでございませぬが次郎左衛門が江戸表へ商業で出る時には船橋の家を清助といふ召使へに任かして出ます、目より經濟に細かい次郎左衛門の事ゆゑ金

覺えて置たうございませぬ武「只今のは背打と申して切るだけの罪の無い奴、以來を戒めてやれば夫で宜いと思つて刀の背で打つたのぢや双の方で切れば四人とも首は胴に附いて居らんワ……」

助は枕を外して寝て居る様子
秀「オヤ馬鹿が寝て居やアがる」
勘「起せ〜」
秀「ヤイ清助起きろ〜」
と揺り起され
清「ア〜誰だよく寝て居るものを起したなア何か食はせる氣か」
秀「食はせるんぢやねえや用があるから茲へ出ろ」
勘「清助何故戸棚へ入つて寝て居るのだ」
清「ヤア誰だと思つたらメツバの勘五郎さんだな」
勘「メツバだけは餘計だ」
清「夫でもメツバに相違ねえ」
勘「何故戸棚へ這入つて寝て居るのだ」
清「蚊が食つて仕方がねえ蚊帳を釣らうと思ふが世話で行かねえから戸棚へ這入つて居たら蚊が來めえと思つたら矢張り蚊が食つて仕方がねえ」
勘「此の馬鹿めえ戸棚へ這入つたつて蚊の除になるものか夫ア然うと次郎左衛門は何處へ行つた」

覺えて置たうございませぬ武「只今のは背打と申して切るだけの罪の無い奴、以來を戒めてやれば夫で宜いと思つて刀の背で打つたのぢや双の方で切れば四人とも首は胴に附いて居らんワ……」

新 鮭節 魚問屋

最優最大日本生命平代理店
志賀盛榮
平四丁目(電二三一)

久全屋商店

磐城セメント會社特約店
磐城平町五丁目 電話九番九九番

- 良品廉賣に勝る商略なし
- 確實敏捷は久の生命なり

靈効散 (無効返)

胃腸病藥の王座を占むる純漢法藥
松前 家傳

ホントに北海道で出來た靈藥が着荷致しました。今迄のは福島市内で製藥したので兎角の批評がありました。今度のものは眞正のもので奏効確なものです。服用しなくては其の眞價が判りませぬから、皆様見本品を差上げます。御遠慮なくいらつしやつて下さい。見本品でも二日間飲まれますから胃腸に苦しみ方、輕病、心臓、痔疾の方は是非御試して下さい。クセにならず根治致します。小兒用の靈効散も出來ました。

定價
試用分 八日分 五十錢
重症用 四十五日 四十五圓
惱症用 廿日分 壹圓

販賣部 地方代理店 阿康藥舖
電話四四番
平町古銀治町縣社ノ下